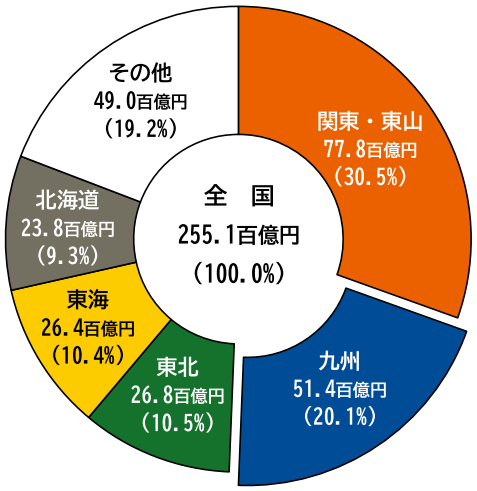
5．野菜生産　- Vegetables Production -

九州の野菜の産出額は全国の約20%

令和６年の九州の野菜の産出額は5,139億円で、全国の20.1%を占めている。

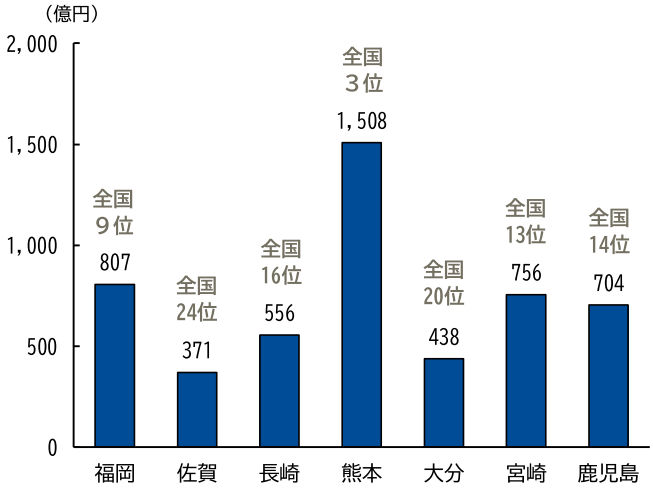
県別にみると、熊本県が1,508億円（全国３位）で最も大きく、次いで福岡県が807億円（同９位）、宮崎県が756億円（同13位）となっており、九州では熊本県及び福岡県の２県が全国10位以内に位置している。

農業地域別 野菜産出額（令和６年）



資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」
注　：全国は都道府県の合計。

九州各県 野菜産出額（令和６年）



資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」

九州では「いちご」の産出額が最も大きい

野菜の産出額を品目別にみると、九州ではいちごが703億円（全国シェア32.8%）で最も大きく、次いでトマトが666億円（同27.3%）、きゅうりが392億円（同24.5%）となっており、上位３品目で全体（5,139億円）の約３割を占めている。

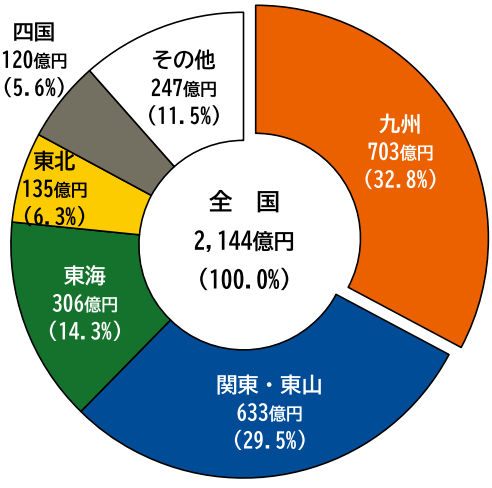
そのうち、いちごの産出額を農業地域別にみると、九州が703億円で最も大きく、次いで関東・東山が633億円、東海が306億円となっており、九州が全国有数のいちご産地であることが分かる。

令和６年 野菜産出額の上位品目（九州）

品　目	産出額		九州内１位	
		全国シェア	県	産出額
	億円	%		億円
いちご	703	32.8	福岡	233
トマト	666	27.3	熊本	437
きゅうり	392	24.5	宮崎	208
ねぎ	256	15.6	大分	110
キャベツ	238	16.1	鹿児島	89
ピーマン	226	33.8	宮崎	119
なす	210	23.9	熊本	116

資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」
注　：生産農業所得統計では、ばれいしょは「いも類」に含まれる。

農業地域別 いちご産出額（令和６年）



資料：農林水産省農産局「生産農業所得統計」

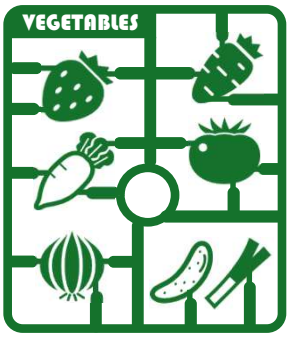
北部では葉茎菜類、南部では根菜類の産出額が大きい傾向にある

各県の野菜の産出額の上位品目をみると、果菜類が全県に共通している一方、九州北部では葉茎菜類、九州南部では根菜類の産出額が大きい傾向にある。

九州各県 野菜産出額上位品目（令和６年）

福岡			佐賀			長崎			熊本		
品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位
	億円	位		億円	位		億円	位		億円	位
いちご	233	2	たまねぎ	94	3	いちご	132	5	トマト	437	1
ねぎ	66	6	いちご	84	8	レタス	47	7	いちご	168	3
なす	62	4	きゅうり	48	9	トマト	45	15	すいか	126	1
トマト	48	13	アスパラガス	25	2	たまねぎ	42	4	メロン	126	2
レタス	48	6	れんこん	21	3	にんじん	42	4	なす	116	2
ほうれんそう	38	6	ねぎ	19	27	ブロッコリー	38	7	キャベツ	58	7
こまつな	35	2	トマト	12	42	きゅうり	23	23	きゅうり	50	8

大分			宮崎			鹿児島		
品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位	品目	産出額	全国順位
	億円	位		億円	位		億円	位
ねぎ	110	4	きゅうり	208	1	キャベツ	89	5
トマト	43	18	ピーマン	119	2	だいこん	77	3
いちご	35	16	トマト	64	12	ピーマン	61	3
ピーマン	26	6	だいこん	50	6	オクラ	50	1
しそ	18	2	さといも	37	2	さやえんどう	45	1
にら	18	6	ごぼう	33	2	にんじん	34	8
はくさい	17	7	いちご	29	20	ごぼう	32	3



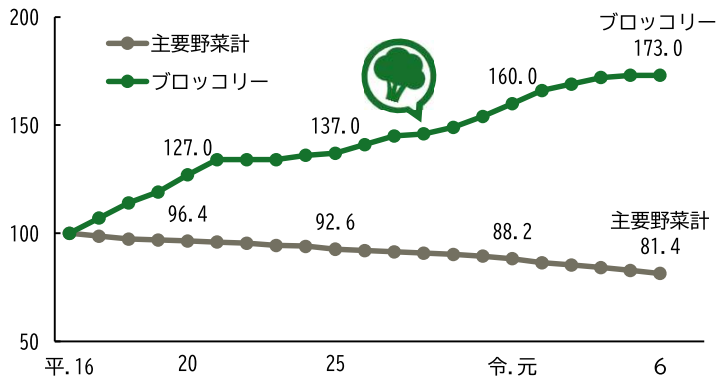
資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」

ブロッコリーの作付面積が増加

全国的に野菜の作付面積が減少傾向で推移している中、健康志向の高まりや需要の増加を背景にブロッコリーは増加傾向にあり、令和８年度から「野菜生産出荷安定法」に基づく指定野菜に追加された。

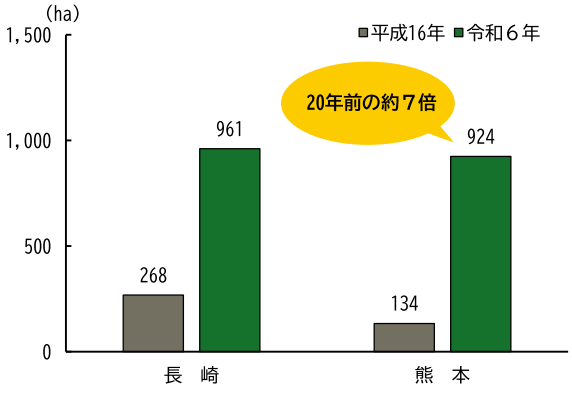
九州では長崎県及び熊本県が主産県であり、作付面積を20年前（平成16年）と比較すると、長崎県では693ha（258.6%）、熊本県では790ha（589.6%）増加している。

主要野菜とブロッコリーの作付面積の推移（平成16年＝100、全国）



資料：農林水産省統計部「作物統計」

ブロッコリー作付面積（長崎・熊本）（平成16年 ▶ 令和６年）



資料：農林水産省統計部「作物統計」